



九重町の第34代キャンペーンレディーになった佐藤さんと白地さんは、就任の意気込みなどを聞こうと二人にインタビューしました。

2021年7月11日付
大分合同新聞8面

九重町のキャンペーンレディーになった佐藤彩花さん(左)と白地澪莉さん(右)九重町役場



【九重】九重町の第34代キャンペーンレディーになった佐藤彩花さん(23)＝大分市明野南・会社員、白地澪莉さん(26)＝九重町引治・団体職員

町の魅力SNSで発信

九重の好きな場所は、佐藤 くじゅう連山。今年初めて登り、その雄大さに感動しました。白地 宝泉寺や筋湯など、それぞれの地域にある温泉街。場所ごとに違った特徴があります。―休日の過ごし方は、佐藤 ブラックバスを主なターゲットに、県内各地で釣りをしています。船で海釣りをすることもあります。

白地 トマト農家の実家を手伝うか、温泉を巡っています。町内で過ごすことが多いです。―今後の意気込みをひとこと。佐藤 SNS(会員制交流サイト)を活用して、町の魅力を積極的に発信していきます。白地 住んでいるからこそ分かる九重の良さを、どんどんアピールしていきたいと思っています。

① 記者の質問「九重の好きな〇〇は。」の〇〇に当てはまる言葉は何でしょう。 ※漢字2文字

場所

② この記事の「見出し」を10字以内で考えてください。

※新聞の見出しは「何をどうする」「何がどうなった」など、記事の内容を「ひと言」で言い表します。

町の魅力 SNSで発信 (大分合同新聞の整理記者はこのように考えました)

「九重の良さをアピール」などでも良さそうです。正解はありません。

③ 友だちに聞いてみたいことはありますか。質問を考え、意気込みや目標についてインタビューしましょう。聞いた内容を記事にまとめ、見出しを付けてください。

(見出し)

(記事)